

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成27年10月21日
第816号

〒952-1209 佐渡市千種丙 178 番地 1
TEL : 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX : 4117
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : skotoba@sado.ed.jp



出会ったお子さんから秘密基地に招待してもらいました。すべり台，展望台，勉強する場所…。きっと時間を忘れて作ったんだろうなあと思像できるすてきな基地でした。久しぶりにわくわくする気持ちをもらい，私も実りの多い秋にしたいなと思いました。

佐渡地域巡回相談

中央福祉相談センター
今井 洋

当センターでは，児童相談所・知的障害者更生相談所として有する心理判定及び医学判定機能等を活用するため，佐渡地域巡回相談を行っています。

相談の主な内容は，療育手帳の交付及び再判定，発達・状態像の確認，心理面接等であり，児童福祉司，児童心理司，児童精神科医師，子育て支援相談員が対応しています。

相談会は，ほぼ毎月実施しており，平成26年度は，11回の相談会に56名の方が来談しました。56名中，子どもは30名，大人が26名でした。

大人の相談では，社会に出たものの仕事が長続きしない，他者とのコミュニケーションがうまくとれない，家庭をもったものの家事や育児がうまくできない等の困難な状況があり，来談する方が多くいました。いずれも，社会に出るときに必要な支援につながっていませんでした。

今，佐渡市では，早期に相談やその後の療育につながる仕組みができてきています。子育ての支援，子どもの支援から，大人の支援につなげていくことの重要性を強く感じています。

みんなが賞状

1学期の終わり，あるグループでの授業で，振り返りの後，お互いに向けて賞状を作ることにしました。

予想どおり(?)「えー」「こいつなんか何もねーよ」と大騒ぎの子どもたち…。それでも照れくさそうに互いに背を向けつつ「振り返りで何頑張ったって言ったっけなー」等言いながら，皆一生懸命書いてくれました。その内容から，思った以上にちゃんと友達のことを見ているんだなあとうれしくなりました。

子どもたちもそう思ったのでしょうか。賞状授与に至っては双方更に照れくさそうでしたが，ぶっきらぼうなお礼とともに受け取るときの，照れの合間にのぞく笑顔がとてもすてきでした。

その笑顔と相手のために一生懸命になっていた姿，これこそ賛辞とともに額に入れて飾っておきたい!と思ったできごとでした。(菊池)





第1回親の会学習会がありました

10月17日（土）に第1回親の会学習会が金井小学校で行われました。現会員や会員外、教育関係者の皆様など、約60名の方が参加してくださいました。

今回は、上越教育大学教職大学院教授・学校心理士の赤坂真二先生から、「子どものやる気を引き出す親になる」をテーマに御講演をいただきました。また、幼児体育インストラクターの原田光様からは、体育館を会場に、子どもたちを対象とした体操教室を行っていただきました。どちらの会場も、参加者の笑顔が満ちあふれ、充実したひと時を過ごすことができました。

ボランティアの協力をいただきました伝統文化と環境福祉の専門学校と、佐渡保育専門学校の学生の皆様、大変ありがとうございました。

また、グループ懇談会では、参加者の一人一人が、日頃の悩みや困っていること等を話し合うことができ、とても有意義な会となりました。参加された方の感想を紹介します。

参加者の感想

- ほめることは、温かい空気で満たすこと。ポジティブな空気でやっていきたいと思いました。
- 子どもとの接し方を考えさせられる時間でした。「ありがとう」「助かった」「うれしい」を連発し、自分が笑顔でいることが大切なんだと感じました。「がんばります」と言うお母さんに対して、「かんばると疲れてしまうので・・・。」という赤坂先生の言葉に、気持ちがほっとしました。
- ほめると叱るの比（4：1）が言葉の数ではなく、雰囲気の数であることが分かりました。明るい雰囲気の中でクラス子どもたちに接していきたいと思いました。
- 自分を1日1回ほめたり、自分が元気になるための時間を大切にして、気持ちをリセットすることが大事だと聴き、無理なく子育てをしていこうと思いました。

